

ひめじ Himeji



令和5年度 全会計予算を可決

令和5年第1回姫路市議会定例会の概要

- ・ 2月20日から3月28日まで37日間開催
- ・ 本会議では18人が質問
(代表質疑6人、個人質疑12人)
- ・ 令和5年度一般会計予算などの議案47件
および議員提出議案1件を原案どおり議決、
議案1件の撤回を承認
- ・ 請願については、2件を審議未了

今定例会号の表紙

姫路城世界遺産登録30周年記念事業

さくらサーカス

(関連記事 P 3)

第1回定例会

代表質疑



録画中継を視聴できます。

3月2日、3日の2日間にわたり6会派の代表質疑を行い、市長1期目の評価や5年度予算、姫路城世界遺産登録30周年記念事業、ごども医療費助成制度などについて活発な議論を展開しました。その一部を紹介します。



市政

活力ある姫路の創生に向けて

問 市長1期目の総括と姫路の未来に向けての構想は。

答 令和最初の姫路市長として、就任以来、市民の3つのLIFE、「命」、「くらし」、「一生」を守り支えるため、「人にやさしい市政」、「人をたいせつにし、人に寄り添う市政」を推進してきた。

新型コロナウイルス感染症への対応は、感染対策として、医師としての知見やネットワークを最大限に活用しながら、妊婦とそのパートナーへの無償PCR検査とワクチンの優先接種を全国に先駆けて実施するとともに、コロナ専用病床の開設や医療人材の確保な

ど、本市独自の取り組みを行ってきた。

また、経済対策として、すべての市民への特別定額給付金や、生活困窮世帯への給付金の支給といった国の支援制度に加え、新生児への給付金の支給、中小事業者への家賃支援やデジタル化支援、プレミアム付き商品券の発行などを機動的かつ切れ目なく実施してきた。

今後は、次の時代を担う子どもはもちろん、年齢や性別障害の有無を問わず、あらゆる人が自分らしく、生き生きと輝いている未来の姫路の姿を具現化するため、まずは5年度をコロナ禍からの反転攻勢へ向けたスタートの年と位置付け、本格的なポストコロナ時代に向けて未来を切り開き、活力ある姫路の創生に向

け、力強く、着実に市政を進めていく。



予算

徹底した行財政改革を

問 5年度予算については。

答 「少子化対策・子ども支援」、「デジタル化」、「グリーン化」、「魅力あるまちづくり」の4つの重点取組に対して予算を優先配分した結果、経常的経費は12億円増の1947億円、投資的経費は48億円増の291億円となった。

これらの支出の増加に対し、コロナ禍からの経済活動の回復等により、市税は26億円増の996億円を見込むとともに、国・県補助金の最大限の活用や自律的事業点検による既存事務事業の廃止および見直しにより財源を捻出し、結果的に収支不足額となる財政調整基金繰入額は、昨年度比1億円増の34億円とした。

問 国の方針を踏まえた今後の本市財政の考えは。

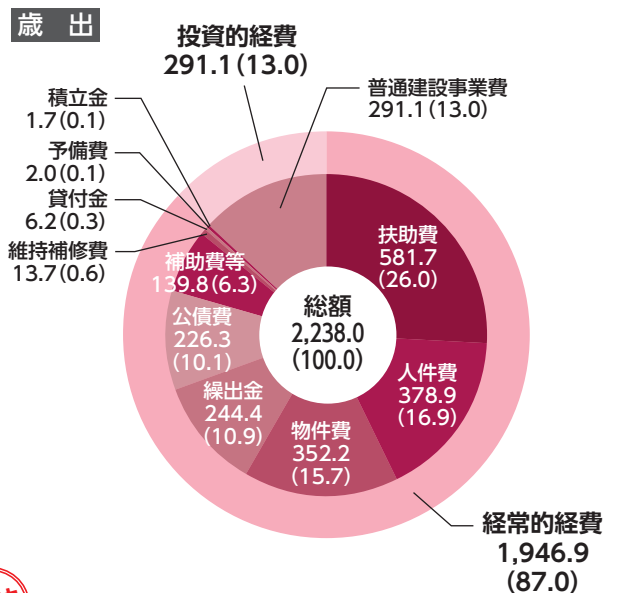
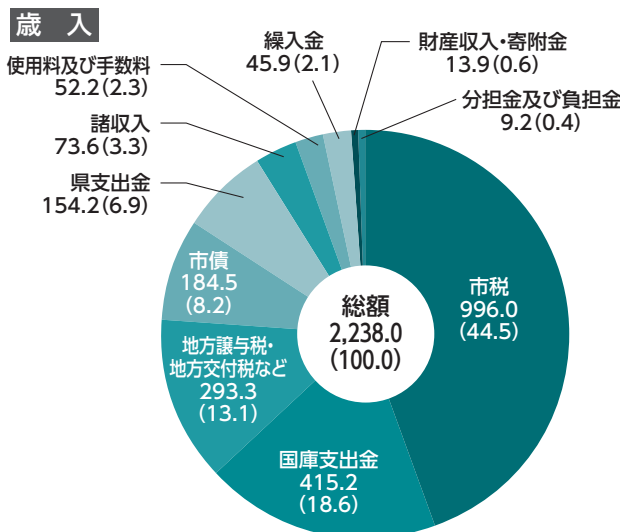
答 国の方針で景気回復や賃金アップ等が示されているが、人口減少や少子高齢化の進展

【特集】令和5年度予算

全会計の予算総額：3,909億円(前年度比0.9%増)

一般会計：2,238億円(前年度比2.8%増)

※単位：億円、()は構成比(%)



特別会計(7会計)：1,099億円(前年度比0.9%減)



企業会計(3会計)：572億円(前年度比2.7%減)

等により、市税等の一般財源の伸びは見込みがたいと考えている。

一方、社会保障関係経費が増加するとともに、原油価格・物価高騰の影響により、施設の運営費などに多額の財源が求められる中、多様化・複雑化する行政課題にも的確に対応していく必要がある。

このような厳しい財政状況では、限られた財源を新たなニーズや施策に効果的に活用していく必要があるため、市民の利便性を保ちつつ、行政のスリム化や市民サービスの最適化を進めるとともに、公共施設の最適化による維持管理等にかかる財政負担の軽減など、徹底した行財政改革を迅速かつ確実に進めていきたい。

一ども医療費

安心して産み育てられるよう

問 5年度から拡充されることも医療費助成制度は、所得制限を撤廃し、高校生まで完全無料化すべきでは。

答 制度の拡充に際しては、市議会の決議（※）も重く受

け止めており、この度の拡充を第一歩として、財政運営に与える影響や制度の持続性などを考慮しながら、より一層の行財政改革により、安定的な財源確保の見通しを立てながら前向きに取り組んでいきたいと考えている。

こども医療費助成制度の6年1月からの拡充イメージ

対象世帯	対象者		自己負担	
	対象年齢	所得制限	通院	入院
全世帯 (子どもが3人以上の世帯を除く)	0～2歳	なし	なし	
	3～15歳	市町村民税所得割額が23.5万円未満(世帯合算)	なし	
	16～18歳	同上	現行どおり	なし
子どもが3人以上の世帯	0～18歳	なし	なし(完全無償化)	

から、引き続き全国市長会や中核市市長会を通じて、国に早期の制度化を求めていくとともに、県に対しても制度の拡充を強く要望していく。

なお、少子化対策を推進することや、子育て支援を充実させることは本市の最重要課題であると認識しており、この課題に対して、5年度の予算では、「出会いから結婚、妊娠・出産期の支援」、「健やかな成長を支える子育て環境の整備」、「子育て世代の経済的負担の軽減」をリーダーディングプロジェクトとして掲げており、こども医療費助成制度の拡充のほか、「産婦健康診査費の助成」、「こどもの未来健康支援センター『みらいえ』の開設」、「特定不妊治療に関する先進医療費の助成」、「多子世帯への出産祝い事業」などの事業を進める。

※市議会の決議…議案報ひめじ第238号P9を参照



姫路城

素晴らしさを再認識して

問 姫路城世界遺産登録30周年記念事業を企画した目的と期待される効果は。

答 5年12月11日に世界遺産登録から30周年を迎える姫路城の魅力を国内外に向けて発信し、祝賀ムードの醸成を図るとともに、姫路城の歴史的本質的価値をさらに高められるよう、記念事業の一体的なプロモーションを展開したいと考えている。

主な事業として、「オールひめじ・アーツ&ライフ・プロジェクト・チームラボ展」、「平成中村座姫路城公演」、「特別版お城EXPO in 姫路」のほか、姫路駅から大手前通りを経て姫路城までを光でつなぐイルミネーション等を計画しており、2月11日からは「さくらサーカス姫路公演」が開催されている。

記念事業を通じて、姫路のまちににぎわいと活力が戻ることで、若者の新たな出会いの場や高齢者の外出機会の創出など、さまざまな副次的効果が生まれることも期待している。

また、全市を挙げて記念事業をPRし、観光需要を喚起

する事業を実施することで、多くの人々に日本初の世界遺産である姫路城の素晴らしさを再認識してもらうとともに、コロナ禍で減少した観光需要を取り戻し、国内外からの観光誘客を促進し、さらには観光事業者の育成、受け入れ体制の強化につなげていきたい。



さくらサーカスは6月4日まで公演

芸術・文化

身近に音楽に触れる機会を

問 アクリエひめじの利用状況は。

答 4年度の稼働率は、1月現在、大ホールで約7割、中・小ホールで5割を超える高い

数値となっており、大ホールでは5年度も既に約5割の予約が入っている。

4年度実績としては、日本センチュリー交響楽団やル・ポン国際音楽祭、人気アーティストや親子向けの公演、落語や狂言などの伝統芸能、NHKのど自慢などの多彩で魅力的な催事が多数開催されており、教育機関や市民文化団体等にも幅広く利用されている。

問 本市が芸術・文化を誇れるまちになっていくために、今後どのような施策を展開するのか。

答 本市では平成28年度から「音楽のまち・ひめじ」プロジェクトを開始し、市民や観光客が音楽に触れる機会の提供や、子どもたちへの音楽の普及などを進めており、ル・ポン国際音楽祭をはじめ、「まちかどコンサート」や「ふらっとお散歩コンサート」などの開催、小学校へのアウトリーチ活動などを実施している。

5年度は、アクリエひめじでベルリン・フィルハーモニー管弦楽団や英国ロイヤル・バレエ団、文学座「五十四の瞳」の公演や人気アーティストによるコンサートを開催す

るほか、姫路城三の丸広場では世界遺産登録30周年を祝う演奏「100本のトランペット」を開催するなど、市民が多彩な文化芸術に接する機会を創出する。

市立高校

方針決定は4月以降に

問 市場跡地への市立3高校の統合・新設に向け、当該地の約60%を占める民有地の取得の進展状況と実現時期は。

答 4年12月から5年2月にかけて地権者への説明会を開催し、あわせて市立高等学校を設置するための土地の売却についての意向調査を行った。その結果、現在の借地の継続を希望する人や、土地の購入金額が提示されない中で売却を決めかねている人もいたが、高等学校の新設そのものについての反対意見は少なかったと認識している。

また、手柄地区連合自治会主催の集会で同様の説明をした際は、応援する意見もあり、おおむね好意的に受け止められたと認識している。

一方、4年9月の段階では、

5年3月末をめどに市場跡地での高等学校新設についての方針を決定したいとしていたが、もう少し丁寧に地権者に聞き合わせる時間が必要であるため、方針決定は4月以降とする。

用地取得の時期については、方針決定の際に今後のスケジュールとともに公表したいと考えている。

問 新設に先立ち、いったん8年度に姫路高等学校の校地に3校を統合・再編するとしているが、再編後の校名は。

答 現時点では決定していないが、市民から親しまれ、本市のシンボルとして全国に発信できる学校にふさわしい校名になるよう検討する。



総合的に判断し、統合先はいったん姫路高校に

会 派 ・ 議 員 名	主 な 質 疑 ・ 質 問 内 容
公明党代表 川島 淳 良	著書「市政惻怛」から清元市政について／令和5年度のメインテーマ「活力」について／行財政運営の推進における5エリアについて／支え合い助け合う地域社会の構築について
自由民主党代表 井川 一 善	清元市政4年間の総括と2期目へ向けての決意について／令和5年度予算・マイナンバーカード・消防団・道の駅・新たな技術を市政に取り入れることについて／文教関係について／厚生関係について
市民クラブ代表 阿山 正 人	子ども支援－臨海部の整備促進－公共施設適正配置－南西部医療体制確保－手柄山スポーツ施設整備／学校適正規模適正配置－市立高校統合－教員の働き方改革－部活動地域移行／道の駅／空き家対策
新生ひめじ代表 酒上 太 造	1, 市長の所信表明について／2, 令和5年度予算について／3, ゼロカーボンシティの推進について／4, 市立3高校の統廃合・新設について／5, 高齢者バス等優待乗車助成制度について
日本共産党議員団代表 苦 瓜 一 成	市長の平和に対する姿勢は／こども医療費無料化は所得制限撤廃し高校生まで適用拡大を－学校給食費完全無償化を－コミュニティバスの運行を／市立3高校の統廃合は中止を／同和行政の完全終結を
燎原会代表 伊藤 大 典	市長の所信表明／令和5年度予算の編成方針／子育て・教育／姫路らしさを備えた新しいまちづくり／芸術・文化の振興／お年寄りが元気に活躍できる社会／地域核を活性化する自然活用型まちづくり

第1回定例会

個人質疑



録画中継を視聴できます。

3月6日、7日の2日間にわたり個人質疑を行い、12人の議員が少子化対策や不登校の現状、今後の新型コロナウイルス感染症への対応などについて活発な議論を展開しました。その一部を紹介します。



デジタル

スマホで事前の入力が可能に

問 本市が実現しようとしている「スマート窓口」とは。

答 転居等の住民異動の届け出等の際、事前にスマートフォン等で必要事項を入力し、表示されるQRコードを窓口のタブレットで読み取るなどの方法により、手書きが不要となる「書かない窓口」機能を5年度中に稼働する予定としている。

さらに、「書かない窓口」機能を住民基本台帳システムと連携させることで、住民票等の作成時間を短縮させる「待たせない窓口」機能を6年度中に稼働する予定としており、手続きの簡素化による

窓口サービスの利便性向上や庁内関係各課の申請手続き等への横展開の活用を目指す。



少子化対策

切れ目のない支援を

問 少子化対策の評価は。

答 2年4月の少子化対策室発足以来、新生児臨時特別給付金の支給をはじめとして、妊産婦タクシー利用料金助成、結婚新生活支援、ライフプランニング推進、婚活サポート、多子世帯への出産祝い金などのさまざまな事業を進めている。出会い・結婚、妊娠・出産、子育てと切れ目のない支援を展開し、一定の評価を得られていると考えている。

問 少子化の理由の1つとし

て指摘される未婚化・晩婚化への市独自の対策は。

答 5年度から新たに観光施策とも連動した市主催の婚活・婚活イベントの開催を予定している。また、4月開設の「みらいえ」で思春期世代が自らのライフプランについて考える機会を提供するなど、今後とも本市独自の支援を一層強化する。



「未来へ」つながる「家」のように

不登校

個々の状況を把握して

問 不登校の現状は。

答 3年度の本市の児童生徒1000人当たりの不登校児童生徒数は、小学校で15・6

人、中学校で70・1人となっており、国や県の数値を上回っている。また、5年間で、小学校で約2・5倍、中学校で約1・5倍に増加しており、喫緊の課題である。

問 不登校児童生徒が安心して登校できるようにするため、どのように取り組むのか。

答 子どもたちが安心できる心の居場所や、活躍の場や機会を設け、魅力ある学校づくりを行うっていくことが最も重要である。また、不登校にはさまざまな要因が複雑に絡み合っているため、それらを把握するために、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門家のほか、必要に応じて医療や福祉の機関とも連携することが大事であると考えている。

市立高校

審議は尽くされたのか

問 市立高校を1校に統合する場合、3校分の運営経費を1校に集中させるのか。

答 1校になると教員の人件費や光熱費等も減るので、現在3校に支出している年間約

15億円の予算をそのまま投入することは想定していないが、今後、特色ある教育を進めていく中で、教育内容等を充実させるために必要な費用は投入していきたい。

問 統合・新設する場合や既存の施設を活用する場合の費用を試算して審議したのか。

答 既存の施設を活用し、1校や2校に統合した場合の具体的な試算をした上での審議はしていないが、3校を維持した場合、老朽化対策に今後40年間で約188億円要するとの試算がある。この費用と比較すると、新校舎を建設しても費用対効果はありと考えている。



児童虐待

適切指導で不適切保育を防止

問 保育施設での園児への虐待など、不適切な保育を防止できているのか。

答 富山県や静岡県で発生した虐待事案を受け、4年12月に国からの虐待防止に関する通知を各施設に周知した。また、本市が毎年実施している保育施設の職員向けの研

修や集団指導において、虐待防止等の権利擁護に関する啓発や指導を行っている。

さらに、国の基準に準じて計画的に実施している定期指導監査では、児童の人權の擁護および虐待の防止を図るために必要な体制の整備や、職員への施設内研修の実施の状況を必ず確認している。

今後も適切な指導に加え、人權擁護や虐待防止に関する研修を継続して実施することで、不適切な保育の防止に努めていきたい。



国の方針に的確に対応

問 今後の新型コロナウイルス感染症への対応は。

答 国は、ワクチン接種について、5年度は特例臨時接種を継続し、6年度以降は定期接種に移行するとの方針であると承知している。

また、国において幅広い医療機関で患者が受診できるよう、必要となる感染対策や準備を講じつつ、国民の安心を確保しながら段階的な移行を目指すこととされていることから、

5年度のワクチン接種や医療提供体制に係る予算として、まずは従来ベースで半年間の対策に必要な額を確保した上で、3月10日を目的に国から示される具体的な方針に迅速かつ的確に対応していく。



障害福祉

さらなる相談体制の充実を

問 障害がある人への地域相談窓口「ひめりんく」の体制充実に向けた取り組みは。

答 ひめりんくの相談員の質の向上については、関係機関の職員を講師とした各機関の業務内容に関する研修や、相談支援専門員全体向けの研修を実施しており、今後も相談支援業務に必要な知識の習得や向上に資するような研修を企画し、実施していく。

ひめりんくの相談員の増員や新たな窓口の開設については、現状では相談支援専門員の人数が十分でないため困難であると考えているが、これらの課題を含めた相談支援体制の充実について、障害者等への支援体制に関する課題を協議する場として設置してい

議員名(会派)	主な質疑・質問内容
萩原唯典(新生ひめじ)	姫路市の少子化対策・子育て支援/人口減少社会における周辺地域のまちづくりと産業振興/アフターコロナへ向けての対策/高速道路インターチェンジ周辺の活用・鉄道駅周辺の整備
谷川真由美(日本共産党議員団)	ジェンダー平等社会の実現をー男女共同参画プラン2027(案)ー男性職員の育児休業取得率向上/保育の質を確保し安全・安心の保育を/「ネスパルやすとみ」のエアコン改修工事はなぜ遅いのか
江口千洋(療原会)	不登校児童・生徒の支援と対策について/市道網干17号線の拡幅整備完了へ向けて
八木隆次郎(市民クラブ)	市を挙げて書写山園教寺三つの堂(大講堂・食堂・常行堂)の国宝化推進を!/ふれあいごみ収集の周知と利用対象者の要件緩和を/介護タクシー利用の更なる改善/若者が就農したいと思える農業を
西本眞造(公明党)	新型コロナウイルス感染症の現状と今後/エネルギー価格の負担軽減策/マンション管理促進事業/市役所のスマート化/移動期日前投票所/带状疱疹ワクチン接種助成/ゴミ屋敷条例/姫路城の桜
石見和之(自由民主党)	新年度の重点政策と改革/大規模地震への対策/こども医療費助成の拡充/手柄山周辺一帯の整備/戦略的・効果的な観光地域づくりと観光産業育成/医療的ケアの充実/カーボンニュートラルの推進
金内義和(無所属)	手柄山スポーツ施設整備運営事業についてー新市場移転後の現市場について/特別支援学級の現状について
今里朱美(無所属)	市民の自由な移動を保障する公共交通の実現に向けて ①既存公共交通の維持について②公共交通空白地域の対策について ③公共交通問題はまちづくりから
竹中由佳(日本維新の会)	重度障害者医療費助成制度の対象者拡大について/障害のある方への相談支援体制の充実について
村原守泰(日本共産党議員団)	国民健康保険料を協会けんぽ並みの払える保険料にー国民健康保険財政安定化基金を活用して国保料の引き下げを/市営住宅入居時の身元保証人の撤廃を/物価高騰から中小企業・小規模事業者を守れ
牧野圭輔(療原会)	姫路市立高等学校(姫路・琴丘・飾磨)の在り方/新美化センター施設の整備/国有林に対する不正行為と姫路市の対応/市長のヨーロッパ(ポーランド)視察
小林由朗(自由民主党)	読解力の向上についてー情操教育についてー民間フリースクールの活用/若者就労支援についてー就職氷河期世代への支援ーユニバーサル就労ーHSPへの理解促進/公民館のさらなる活用について

る姫路市地域自立支援協議会の意見等を踏まえ、引き続き検討したい。



就労支援

あなたの就職サポートします

若者の就労支援は。

問 大学生の8割以上が参加するインターンシップに力点を置いた雇用促進対策総合支援事業「あっと！姫路」を実施し、学生と地元企業が出会う機会を創出するほか、関係機関と連携し、主に大学新卒者対象の合同企業説明会を開催している。



企業の魅力を伝え、就労を支援

就職氷河期世代への支援

問 は。 姫路しごと支援センターで、就職氷河期世代を含む若者から高齢者までを対象にキ

ャリアカウンセリングやセミナーを実施しており、3年度は18回の就職準備セミナーと9回のパソコン講座を開催した。

また、女性を対象にしたスキルアップの研修や合同面接会などの就職支援も行っており、5年度は、就職経験のない人や就職氷河期世代の人が参加しやすいよう、定員や研修コースの数を増やしていく。

物価高対策

1日でも早い支給を

中小企業等原油価格・物価高騰支援金の支給状況は。

答 同支援金については、受付期限の延長と申請要件の緩和を行い、7366件、約12億円の申請を受け付けた。書類審査が完了したもののから順次支給しており、3月13日までに全体の約66%である4920者への支給完了を予定している。

今後は、申請書類に不備がなかった事業者への3月中の支給完了を目指す。また、申請書類に不備があった事業者に対しては、随時、電話や文

書により、不備の解消を求めており、中小企業・小規模事業者の事業継続を支援するという同支援金の目的を達成するため、早期の支給完了に取り組む。



市場

地域住民の不安解消を

移動に伴い無人となる現場の安全対策は。

答 4、5月末は、昼間は警備員を配置し、場内事業者が後片付けをするための出入りを可能にするが、夜間はフェンス等で閉め切って出入りできなくする。

6月から解体撤去工事が始まるまでの約4カ月間は完全封鎖するため、警備員を配置しないが、市職員による定期的な巡回や隣接する手柄交番との連携により安全性を高め、地域住民の不安の解消に努めたい。

また、封鎖時は容易に敷地内に入れないようにするが、老朽化して危険な施設内子どもたちが侵入して遊ぶことがないように、近隣の小・中学校への注意喚起に努める。



公共交通

人ごとではない重要な課題

バス路線を維持するための課題と利用促進策は。

答 路線バス事業は、社会の進展による利用者の減少や人口減少に加え、コロナ禍による移動需要の減少や世界情勢の影響による燃料価格の高騰などを受け、非常に厳しい状況にある。

そのような中、郊外などの不採算路線や鉄道と重複する路線、他の市町をまたぐ広域路線の利用者の減少や、運転手を確保しなければいけないという課題がある。

利用促進には、利用者の意識が重要であるため、広報紙や市政出前講座に加え、モビリティマネジメント（※）など、あらゆる手法で啓発する。 ※モビリティマネジメント：過度な自動車利用から公共交通・自転車等を適切に利用する方向へ自発的に変化することを促す交通政策



公園

地域の実情に合わせて

公園管理の見直し状況は。

答 今後の公園の管理方法の見直しに当たり、公園利用者や公園愛護会へのアンケート調査等により市民が求める公園を把握し、地域ごとの実情に合わせた公園の在り方を検討している。

樹木の管理については、実験的に伐採木をまきに加工して販売するほか、剪定木のチップ化や落ち葉の腐葉土化等を進め、公園愛護会による処理負担の軽減やコスト削減、資源の循環を図っている。

また、一定の面積の宅地を開発する場合に公園等の設置を義務付けているが、その結果、小規模な公園が増えていくため、公園設置を要する開発面積の要件を緩和するなど条例改正に向けて、パブリック・コメントの実施を予定している。



腐葉土化される落ち葉

委員会等の活動(1月～3月)

委員会報告

各常任委員会を3月13日から16日および22日に開催し、それぞれ付託された議案や請願等について活発な議論を展開しました。

議案が付託された6つの委員会のうち、予算決算委員会以外の委員会の委員長口頭報告から、主要望事項を紹介します。

※予算決算委員会に付託された予算議案に関する議論はP9のとおり

総務委員会

①播磨圏域連携中核都市圏ビジョンにおける連携事業の1つである「文化財担当者の連携体制の構築」については、現在検討中とのことだが、圏域の各市町の担当者同士の意見交換などを含めた連携は本市にもメリットがあると思われるため、播磨圏域8市8町で共存共栄できるよう、担当部局とともにしっかりと連携事業を推進されたいこと

②アイランドハウスいえしま荘の民間譲渡については、家

島地域の活性化に主眼を置いた事業者の選定が行われるよう、所管局と十分意思疎通を図りたいこと

文教・子育て委員会

①白浜小学校の相撲場については、意匠を変更する方針に基づき、地元関係者への丁寧な説明はもとより、早急に工事を行い、一日も早く子どもたちが使用できるように、しっかりと取り組まれないこと

②中央卸売市場跡地での市立高等学校の再編について、同市場跡地の用地取得が困難となった場合は、文化センター跡地の活用の可能性を検討するなど、他部局の事業との優先順位も勘案しながら、教員や財源を1校に集中させた新たな高等学校の整備を積極的に推進されたいこと

厚生委員会

①食肉衛生検査センターが輸出用牛肉の取り扱いを開始し、処理頭数が増加したことに加え、輸出相手国の検査内容に対応するための設備更新が必

PICK UP 厚生委員会

議案第19号 姫路市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例について

委員の意見

昨年、こども医療費助成の高校卒業までの無料化を求める決議を全会一致で可決し、議会として一刻も早く高校卒業までの医療費を完全無償化されたいと意思表示しているにもかかわらず、この度の拡充内容では不十分であると感じてやまない。ひとまず本条例のとおり拡充することに一定の理解を示すものの、条例の施行期日を「市長が告示で定める日」とし、具体的な制度の開始時期が不明確であることは市民の理解を得られず、議会を軽視していると言わざるを得ない。

当局の対応

施行期日を6年1月1日と明記することとしたいと、当該議案の撤回を申し出た。(後に施行期日を明記した議案を提出(議案第48号))

委員会の対応

議案の撤回を了承した。

要になったことから、保健所使用料及び手数料徴収条例を改正し、と畜検査手数料を値上げすることとすることで、コロナ禍により飼料の値段が高騰しており、厳しい状況にある生産者の理解を得られるよう、本条例の改正理由をしっかりと説明されたいこと

②民間企業への男女共同参画の意識啓発を図るには、まず市職員の意識の高揚に取り組む必要があると考えられることから、総務局と連携して、研修の充実を含めた男女共同参画の推進に取り組まれないこと

①世界遺産姫路城マラソン2023において、緊急時の対応に不手際があったため、次回大会以降は職員だけでなく、ボランティア等、ランナーをもてなすすべての人に対して緊急時の対応等に関する知識を事前に周知するなど、しっかりととした救護体制を整えられたいこと

②お城の女王制度に代わる「姫路お城のアンバサダー」については、性別を問わず、姫路城と姫路の魅力をしっかりとPRでき、今後の応募者拡大にもつながるような人材を選出し、より良い制度に発展するように取り組まれないこと

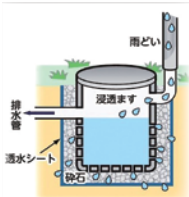
経済観光委員会

建設委員会

①市営住宅としての用途を廃止する市営手柄住宅の周辺には市立保育所や認定こども園があるため、子どもの安全確保を最優先とした解体撤去工事に努めるとともに、跡地利用については、こども未来局とも相談しながら適切な利活用を検討されたいこと

②道路反射鏡の設置および修繕工事においてコンクリート基礎の不正施工が判明した事案について、今後、同様の事案が発生しないよう十分な検査体制を整え、市民の安全を最優先とした適切な点検作業に努められたいこと

③効果が分かりにくく、4年度の補助実績が0件となっている雨水浸透ます設置費助成制度については、映像を使ったPRを行うとともに、新たな設置の契機となる住宅の新築や増改築の機会を活用するため、ハウスメーカー等への情報提供にも積極的に取り組まれないこと



浸水被害の軽減に役

分科会報告

3月9日、10日に予算決算委員会（全体会）を開催し、各会計の予算について理事者から説明を受けました。13日から16日に各分科会を開催し質疑応答を行い、議案を慎重に審査しました。22日の全体会で各分科会長より分科会での議論について報告され、28日の本会議で5年度の全会計予算を認定しました。

各分科会での5年度予算に関する議論から、その一部を紹介いたします。

総務分科会

問 老朽化により崩落し、道路を陥没させる危険性がある防火水槽の撤去工費が1基のみ予算に計上されているが、他の防火水槽の今後の撤去についてはどう考えているのか。

答 対象となる防火水槽は戦後に設置されたもので、全部で26基あり、そのうち7基は既に撤去済みである。シロトピア公園内にある1基は道路下でないことから撤去を考慮していない。残りの18基については、年次計画を立てた上で

14年度までに撤去を完了する予定である。

意見 設置から相当年数がたっていることから、防火水槽等の状況をよく見極めたうえで、時期を早めることも考えながら適切に撤去を進められたい。

文教・子育て分科会

問 「みらいえ」内の「のびのび広場みらいえ」では、どのような子育て支援事業を行うのか。

答 他の地域子育て支援拠点で行っている事業と同様に、子育て中の親子の交流促進や育児相談などを行う予定である。また、みらいえ内に併設される子育て世代包括支援センターの保健師等と連携し、講演会などのさまざまな子育て支援事業を展開することを検討している。

意見 利用者が個々のニーズに合った施設を選択し、円滑に利用できるよう、きめ細やかな情報提供に努められたい。

問 本市では、小中学校の通常学級に在籍する児童生徒に対し、学習面や生活面の困難を克服するために「通級指

導をどのように実施しているのか。

答 4年度は通級による指導教室を23教室開設しており、児童生徒の特性や状態に応じた指導をしている。

意見 支援を必要としている児童生徒が負担なく自校通級ができる環境を整え、とともに、担当教員の人員確保にしっかりと努められたい。

厚生分科会

問 公民館が校区の人口規模に応じた施設になるように増築すべきではないか。

答 本市は公共施設等総合管理計画に基づいて市内全域の公共施設の在り方について検討しているところであり、校区の人口規模に応じた公民館にするための増築は、公共施設の床面積の増加につながる

ことから難しいと考えている。

意見 公民館を中心とした地域コミュニティの活性化を目指すため、WiFi環境の整備などを新規事業として掲げており、若者から高齢者までさまざまな世代が交流できるようにするためにも、地域人口に見合った規模の公民館とするよう取り組まれない。

経済観光分科会

問 大手前通りのイルミネーションに関して2億円以上の予算が計上されているが、照明器具等を購入して、5年度以降も毎年実施するのか。

答 LEDライトを購入して、数年間は継続して実施したいと考えている。また、姫路城のライトアップイベントや商店街等のイルミネーションと時期を合わせて行うことで、姫路駅前から姫路城までのエリアにおける一体的な魅力を創出したいと考えている。

意見 国内観光客だけでなく、インバウンドも見込めるような、他都市に負けない素晴らしいイルミネーションとなるように取り組まれない。

建設分科会

問 ICT等の活用により下水道業務のスマート化を図る経費は計上されているのか。

答 水道事業では、漏水事故等の発生時に、これまでは復旧作業に要する範囲を想定して現場に図面を持参する必要があったが、タブレット端末を使用し現場から水道配管図を閲覧できるように、システムの導入経費を計上している。

また、下水道事業においては、マンホール蓋等の設備の老朽化状況のデータをタブレット端末を使用して収集し、下水道施設の維持管理の効率化につなげる取り組みを民間企業と共同で検証していると考えている。

意見 技術系職員の人材不足を補うためにも、ICTを活用した下水道業務の効率化にしっかりと取り組まれない。



さまざまな講座が行われる公民館

5月に臨時会が
開催されます

詳しいことは議事課まで
お問合せください

(☎221-2033)

議会の動き

■共同協議会が最終報告を提出

議員による不当要求行為の再発防止策等検討共同協議会は、4年4月7日に第1回を開催して以来7回にわたって、議員と理事者がお互いに意見を出し合い、議論を重ねてきましたが、このたび、協議が終了したため、最終報告が議長に提出されました。

最終報告にある再発防止策等の概要を紹介します。



共同協議会HP

再発防止策等の概要

▶職員の対応

- ・議員との対応時の記録を全件、早期に作成する
- ・議員からの要望等には、複数職員で対応する
- ・議員による実質的な影響がみられる要望については、自治会長等の肩書に関係なく、議員からの要望として、市長に報告する
- ・議員からの不当要求行為に対する実務的職員研修の充実を図る
- ・議員からの要望等の際は面談開始時から終了まで録音する

▶議員による不当要求行為の未然防止策

- ・議員からの要望時に、不当要求行為に該当又は発展しそうな言動や行為が見受けられる場合は、所管課が注意喚起するように努める
- ・注意喚起後も改善が認められない場合や、今後不当要求行為につながる可能性がある要望を行った議員に対して、事前警告を行う

▶議員による不当要求行為を認定した場合の対応

- ・不当要求行為の認定を受けた議員は、議長に報告する
- ・議長は、議会運営委員会に諮り、当該議員に対する必要な措置を決定する協議機関を決定する



■高校生と座談会で意見交換

4年12月26、27日に高校生と姫路市議会との座談会を開催し、アクリエひめじの活用、若者の投票率の向上、LGBTQ+に関する取り組み、公立高校の再編、公共交通空白地を生み出さない取り組みなどについて、意見交換しました。



座談会HP



■情報公開に努めています

6月30日（金曜日）から、ホームページで4年度の政務活動費収支報告書等を公開します。議会事務局でも閲覧できます。

また、ホームページで議会交際費の執行状況を毎月公開しています。4年度の支出明細は次の通りです。



交際費HP

4年度 議会交際費支出明細

種類	件数	金額 (円)
慶祝	0	0
弔慰	14	167,217
見舞	0	0
会費	10	128,000
賛助	3	11,790
謝礼	1	10,773
接遇	0	0
雑費	2	25,200
その他	0	0
計	30	342,980

審議未了（廃案）
○コロナ禍のもと、児童・生徒の健康と学習権が守られるために、生理用品の配布を求めることについて
○学校給食費無償化を求めることについて

本定例会で結果が出た請願は次のとおりです。

請願

岸本 成喜
〈固定資産評価員〉
上田 達也
〈固定資産評価審査委員会委員〉

人事（敬称略）

竹中 隆一
〈40年勤続市議会議員〉
阿山 正人
梅木 百樹
〈20年勤続市議会議員〉
(議席番号順)

永年勤続 議員表彰

提出議案とその結果（令和5年第1回定例会）

番 号	件 名	結 果	会 派 名													
			公 明	市 民	自 民	新 生	共 産	療 原	維 新	無 所属	無 所属	無 所属	無 所属	無 所属	無 所属	
議案第1号	令和5年度姫路市一般会計予算	可決	○	○	○	○	×	×	○	×	○	○	○	○	○	○
議案第2号	令和5年度姫路市卸売市場事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	令和5年度姫路市母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第4号	令和5年度姫路市国民健康保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第5号	令和5年度姫路市介護保険事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第6号	令和5年度姫路市後期高齢者医療事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第7号	令和5年度姫路市奨学学術振興事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第8号	令和5年度姫路市財政健全化調整特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第9号	令和5年度姫路市水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第10号	令和5年度姫路市都市開発整備事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第11号	令和5年度姫路市下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	令和4年度姫路市一般会計補正予算（第8回）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第13号	令和4年度姫路市一般会計補正予算（第9回）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第14号	令和4年度姫路市介護保険事業特別会計補正予算（第2回）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第15号	令和4年度姫路市財政健全化調整特別会計補正予算（第1回）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第16号	令和4年度姫路市下水道事業会計補正予算（第2回）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第17号	（仮称）道の駅姫路整備運営事業者審査委員会条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第18号	姫路市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	姫路市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例について	撤回承認※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第20号	姫路市指定障害児通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第21号	姫路市旅館業法施行条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第22号	姫路市保健所使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第23号	姫路市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第24号	姫路市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	姫路市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第26号	姫路市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第27号	姫路市幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※関連記事 P 8

提出議案とその結果（令和5年第1回定例会） 続き

番 号	件 名	結 果	会 派 名													
			公明	市民	自民	新生	共産	燎原	維新	無所属(松岡)	無所属(三木)	無所属(金内)	無所属(今里)	無所属(坂本)	無所属(妻鹿)	
議案第28号	姫路市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第29号	姫路市幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件を定める条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	姫路市立幼保連携型認定こども園条例等の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	姫路市ホテル等の建築等の適正化に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第32号	姫路市建築確認申請手数料等徴収条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第33号	姫路市営住宅管理条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第34号	姫路市下水道条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第35号	姫路市消防団条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号	契約の締結について（姫路市営市川住宅（第3期）高層建替（電気）工事請負契約の締結）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	契約の締結について（姫路市営市川住宅（第3期）高層建替（機械）工事請負契約の締結）	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	包括外部監査契約の締結について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	土地改良事業の計画の概要を定めることについて	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	市道路線の認定及び廃止について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	姫路市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第43号	姫路市介護保険条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	令和4年度姫路市卸売市場事業特別会計補正予算（第1回）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	議決更正について（都市計画道路広畑幹線ほか1路線橋梁下部（その1）工事請負契約に係る議決更正）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号	固定資産評価員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第48号	姫路市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案第1号	姫路市議会会議規則の一部を改正する規則について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

会派の略称と人数

公明党	公明	8人	無所属	無所属(松岡)	1人
市民クラブ	市民	8人	無所属	無所属(三木)	1人
自由民主党	自民	8人	無所属	無所属(金内)	1人
新生ひめじ	新生	7人	無所属	無所属(今里)	1人
日本共産党議員団	共産	3人	無所属	無所属(坂本)	1人
燎原会	燎原	3人	無所属	無所属(妻鹿)	1人
日本維新の会	維新	2人			

※ 賛否には議長(自由民主党所属)は含まれません。

賛否状況の表記

- 賛成は「○」、反対は「×」、除斥は「除」、退席は「退」、会派内で賛否が分かれた場合等は「※」と表記しています。
- 議員ごとの賛否等の状況はホームページでご覧になれます。

